



こども食堂

みんなあつまれ！

地域の子どもたちが集まって遊んだり、宿題をしたり、さらにおなかいっぱいにもなれる。そんな場所が江別にはあります。「子ども」だけでなく地域の人も集まって、みんなで食事を楽しむことができる「こども食堂」。本特集では、その魅力に迫ります。[\[詳細\]](#) 子育て支援課 ☎ 381-1408

おしえて！こども食堂

こども食堂を知っていますか？こども食堂と聞くと「無料、または安価でご飯を食べられる場所」というイメージが強いかもしれませんが。実はこども食堂は、ご飯を食べるためだけに集まる場所ではありません。子どもにとっては居心地の良い場所、地域の大人にとってはボランティアなどで人とつながることができる場所なのです。

友達と集まってわいわいおしゃべりしたり、高齢者が地域とのつながりを求めて訪れたりもしています。

みんなで一緒においしいご飯を食べる機会は、栄養だけでなく元気を得られます。こども食堂とはどんな場所なのか、ちょっとのぞいてみましょう。

どんなご飯が食べられるの？



市内の事業者や個人から寄付された食材で作られる料理を食べられます。ハヤシライスやちらしずしなど、メニューも豊富です。

誰が行っているの？



誰でも食事ができます。食事をせずに遊んだり、おしゃべりしたりするためだけに訪れることもできます。

どうやって参加するの？



予約不要なところもありますが、予約が必要なところもあります。行きたいところに確認してみましょう。

お金はいくらかかるの？



多くの場合、子どもの食事は無料で提供されています。大人は300～500円で食事できる場所が多いです。



Interview



いわもと のぞみ
岩本 希 さん

NPO 法人恩おくり代表。2022 年から大
麻扇町商店街で居場所づ
くりの活動を始める。愛
称はのんちゃん。



大切な「食事」と「居場所」

「^{おん}ちゃん家」での活動

居場所としての役割

私が運営している「恩ちゃん家」は、大麻扇町商店街にあります。子どもだけでなく、地域の高齢者など誰でも来ることができ、仲良くご飯を食べたり、遊んだりしています。子どもは無料、大人は300円で食事ができます。

他にも、子ども食堂の立ち上げサポートをしたり、市内の子ども食堂や企業などと連携を進める「江別子ども食堂ネットワーク」の運営も行ったりしています。

最初は、ボランティアの大学生たちとおにぎりを提供することからスタートしましたが、多くの方の支えもあり、ここまで大きくなりました。

恩ちゃん家は、いつでも誰でもおいで！というオープンな場所です。子どもたちは「あそこに行けばご飯が食べられる！」と気軽に遊びに来てくれます。

普段は月1回開催しています。学校が長期休みの時期は、週に2〜3回開いています。親御さんからはとても感謝されています。「ご飯が提供される」だけでなく、「家で一人ぼっちでご飯を食べなくていい」ことへの安心感が大きいのだらうと考えています。「恩ちゃん家」は年代などにとらわれず、誰もが安心してきる居場所を目指しています。

恩ちゃん家の1日

10時頃

食堂オープン
ボランティアの方がご飯を作る準備をします



11時

子どもたちが集まり、遊んだりしています



11時30分頃

地域の人も集まってきて
みんなで食事の準備をします



12時

「いただきます！」
みんなで食べるご飯は
やっぱりおいしい



13時

食べ終わったら、
またみんなで遊びます



16時

おひらき



Support to...

子ども食堂を
サポートする

1. 食料品を寄付する

恩おくりでは、フードバンク事業も行っています。フードバンクに集まった食料は、各子ども食堂に配分されたり、希望者に配られたりします。寄付したい食料品を恩ちゃん家（大麻扇町3-16）に持参してください。

2. 現金を寄付する

子ども食堂の活動には、運営費が欠かせません。現金寄付の相談は、各子ども食堂へお問い合わせください。

市内の子ども食堂

※掲載許可を頂いている一部の子ども食堂

- ・ 団らんよりあい食堂
【開催場所】 大麻扇町 3-16 ☎ 807-7866
- ・ 子ども食堂 にここ広場
【開催場所】 見晴台 54-5 ☎ 384-8223
- ・ 子ども食堂 りぼん
【開催場所】 野幌寿町 24-10 ☎ 070-9074-3674
- ・ てまり食堂
【開催場所】 元江別本町 10-6 ☎ 090-2698-8996

